



13年ぶりの花嫁道中

～地域と幸せ分かち合う～



◆主な内容◆ (平成28年6月1日号)

- チャグチャグ馬コ、もりお花ハングングバスケットフェア、市場開放デー、木造住宅耐震診断&改修への補助、都市景観賞を募集、漏水の調査・発見にご協力を 2～3ページ
- 介護予防「いつまでも若々しく 輝くシニアライフ」 4～5ページ
- 盛岡ライフストーリー、男女共同参画週間もりおか展、国体コラムなど 6～7ページ
- 盛岡芸術祭開会式 10ページ

今年で43年目を迎える材木町よ市で4月30日、新郎新婦が家族や親せきと行列を組んで練り歩く「花嫁道中」が13年ぶりに行われました。主役は藤澤正展さんと由美さん夫妻。材木町子ども会も加わった行列は、南部一声会の木やり歌を先頭に夕顔瀬橋側を出発。新郎新婦の乗った人力車が商店街を通ると、沿道の買い物客やよ市出店者などから祝福の言葉や多くの拍手が送られました。材木町商店街振興組合の中心メンバーとして、材木町の活性化に取り組んできた正展さんは「商店街を歩いてあらためて、よ市が市民に愛されていることを感じた。今後も全力で材木町を盛り上げていきたい」と気持ちを新たに。この日のよ市は天候にも恵まれ、まち全体がお祝いの雰囲気にも包まれました。

